

高齢者の入浴事故が増加中

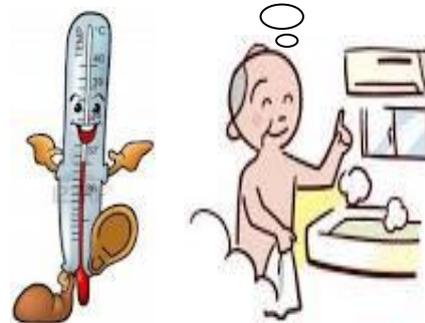


寒い季節になると、高齢者や持病のある方の入浴事故が多くなります。一人でも多くの住民を入浴事故の危険から守るため、次のことに注意して入浴事故を防ぎましょう。

入浴事故を起こしやすい方

- ① お風呂場、脱衣所などが寒い家
- ② 高血圧や不整脈など持病のある方
- ③ 熱めの風呂を好む
- ④ 一番風呂に入ることが多い
- ⑤ お風呂は首までつかる
- ⑥ 65歳以上の高齢者

室内の温度差、
入浴時間に
注意しよう



入浴事故を防ぐポイント

- ① 脱衣所や浴室を暖め、温度差を少なくする
- ② ぬるめの温度(約39~41℃)で、長湯はしない
- ③ 入浴の前後に十分な水分を補給する
- ④ 入浴時の移動は、急に立ち上がりずゆっくりと
- ⑤ 血圧降下の原因となるような、飲酒や食後の入浴は控える
- ⑥ 浴槽は浅め(あるいは水位を低く)で半身浴が望ましく、縁に手すりなどを設けておく
- ⑦ 家人等が声かけするようにする
- ⑧ 独り暮らしの場合、出浴時に浴槽の栓を抜き溺水の予防をはかる

入浴中に事故が発生したら

「すぐに119番して救急車を呼ぶ」、「必要があれば応急処置を行う」

消防本部・消防署
82-4511

